

いっしょに始めましょう！

サポート・ノート

しとねる

つなぐ

お子さんのライフステージに沿って、保護者の方と、子育て総合支援センター、保健センター、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校が連携し、情報を共有し、お子さんの成長を促します。

つむぐ

お子さんにかかわる者・機関が適切な役割分担と連携のもとに、保護者の方といっしょに、お子さんのことを考え、糸を紡ぐように力強い体制を築く資料とします。

しとねる

「人(しと)と人の間で練(ねる)られ、人となる」と言うように、あたたかく豊かな人間関係の中でお子さんをしとねて(子どもを育てて)いきます。

常滑市は、「世界に開かれた生活文化都市」を目指しています。

サポート・ノート『しとねる』は、常滑市の保護者の方の子育てを応援するためのツールです。ツールは使う人たちの協力・連携次第でそのかがやきを増すものです。このサポート・ノート『しとねる』が子どもを育み、見守り、支援する人々を「つなぎ、つむぐ」ツールになると期待しています。

「子どもを大切にする」から「子どもを徹底的に大切にする」市へ。

みんなで「つなぎ」、みんなで「つむぐ」。

子どもの未来に向けて、ともに進みましょう。



常 滑 市
常滑市教育委員会

Q 個人情報の取扱いについては？

A 保護者の了解なしに、他の人に見せたり、渡したりすることはありません。
個人情報については、責任をもって守ります。



Q 「しとねる」は誰が保管しますか？

A 入園前は保護者が保管します。入園後は、幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校が保管します。中学校を卒業するときは、保護者にお返しします。保護者の判断で進路先や就職先で活用することができます。

Q いつ記入しますか？

A 保護者と支援者(担当者・担任)が、「しとねる」を見ながらお子さんについて相談する機会を設け、記入します。

年少

支援ネットワーク

本人の写真

活動・遊び事

生活・健康上の配慮

中学校3年生

支援ネットワーク

本人の写真

活動・遊び事

生活・健康上の配慮

学期	がんばること【目標】	どうやって【手立て・方法】	どうだったか【評価】
一学期		(家庭) (学校)	
二学期		(家庭) (学校)	
三学期		(家庭) (学校)	

今年度 特に成長したこと

来年度 将来に向けて

記録(相談・経過等)

現状および願い・希望
(友達など人との関係)

(行動・生活)

(心身の健康)

(進路・将来のこと)

本人が困っている状況とその状況での効果的な対応



ひとりで悩まないで・・・

お子さんとかかわる中で、「うちの子だけなのかな?」「どうして、いつもこうなの?」……など、気になったら、少し話してみませんか?“子育て”は“孤育て”ではありません。地域の中で、お互いに助け合いながら育まれていくものです。子どもは皆成長する力を持っています。中には、生まれつき人とかかわり方が苦手で、少し工夫することで生活しやすくなるお子さんもいます。保護者や周りの方が気になっていることは、実はお子さん自身も困っていることかもしれません。

たとえば、こんな様子はありませんか?

- ☐ 言葉が増えない。聞こえた言葉をそのまま繰り返すことが多い。
- ☐ 人へのかかわり方が一方的である。
- ☐ 視線が合わない。
- ☐ 名前を呼んでも振り向かない。
- ☐ 水や光など、特定のものへのこだわりが強い。
- ☐ 痛みや熱さに鈍感であったり、あるいは敏感であったりする。
- ☐ 普段どおりの生活習慣や道順などの変化に抵抗がある。
- ☐ 手をひらひらさせる、ぐるぐる回るなど反復的な行動が目立つ。
- ☐ 偏食があり、食べ物のレパートリーが極端に狭い。
- ☐ 押したり、噛み付いたりなど、人に危害を加える。
- ☐ 同じ質問をしつこくする。
- ☐ 場所によって、全くしゃべらない。
- ☐ ふざけてしまうと、話が聞けない。
- ☐ マイペースで周囲を意識しない。
- ☐ 高い所に登って手を離すなど、危険が分からない。
- ☐ ごそごそ、そわそわして、じっとしてられない。
- ☐ 表情が乏しい。または、感情の起伏が激しい。
- ☐ 頭を壁に打ち付ける、手を噛むなど、自分が傷つくことをする。



気付いたときがチャンスです。そのときに適切な支援や相談を受けることで、よりよい発達へと導くことができます。

お子さんが自信をもち、保護者の方も子育てが楽しくなるように、一人で悩まないでご相談ください。